

園聖句：私はまことのぶどうの木、あなたがたはその枝である。(ヨハネによる福音書15章5節)

年主題「心をつなごう」

月主題：おもしろい

月聖句 あなたがたの名が天に書き記されていることを喜びなさい。

(ルカによる福音書10章20節)

乳児月目標・礼拝に参加する気持ちを育む

- ・家族、保育者、友達などいろいろな人の触れ合いを喜ぶ
- ・のびのびと表現したことをまわりの人に受け止めてもらう

幼児月目標・遊びに熱中し、繰り返し取り組む事が楽しくなる。

- ・生活の変化を楽しむ。
- ・散歩に出て風や香りを感じて自然に触れる。

京都府に8月20日から9月12日まで「緊急事態宣言」が発令された後も感染拡大が続いた為、9月30日まで延長されました。その為、予定していました『うんどうあそびの日』を10月9日に延期させて頂きました。本番だった9月25日が雨の場合は10月2日を予備日としておりましたが、緊急事態宣言が発令される中、思うように練習が出来ないということで、日程を延期させて頂きました。ご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願い致します。10月9日の『うんどうあそびの日』が子ども達や保護者の皆様にとって恵み多き日になります様にと願います。

10月の行事予定

- 4日(月) たんぽぽ面談期間～10/22(金)まで(1:30～ 2:00～)
ばら面談期間～11/19(金)まで(3:30～)
- 6日(水) お誕生日参観の日(9:30～12:00まで)
- 9日(土) うんどうあそびの日(雨天予備日:16日)
- 12日(火) お弁当の日
さくら・ばら・ゆり八瀬野外保育センター園外保育
*9:00までに朝の用意が終わるように登園して下さい。
- 18日(月) ばらグループ替え
- 20日(水) おいもほり(雨天21日)
- 23日(土) すみれ親子遠足…9:15～12:00 すみれクラス懇談会…12:00～13:00
- 30日(土) ちゅうりっぷ・ゆりクラス懇談会:9:30～11:00
茶話会委員会11:00～12:00



◇おいでよ赤ちゃん 30日(9:30～10:30)

◇園庭開放 7日 28日(10:30～11:30) 8日 22日(1:00～2:00)

◇ぶどうにあつまれ 23日(9:30～10:30)

11月の行事予定

2日(火) 内科検診 PM1:15～

5日(金) 歯科検診 PM1:30～

6日(土) さくら・ばらグループ懇談会…1:00～2:30



今年もおいもほりに行きます!

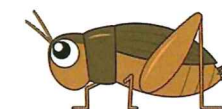
春から夏にかけて、園庭のプランターでいちごや色々な野菜の水やりをしながらお世話をし、作物の収穫も楽しみました。また、作物の育ちを目で見て身近に感じた子ども達でした。秋は桂川の河川敷の畑でおいも掘りをします。一生懸命土を掘り、お芋を発見し、出てきた時の子どもの「やったあ!見て!」の顔は、自分の手で収穫した喜びにみちています。お芋だけでなく、畑の中の虫にも歓声が上がリ、心も体も自然に触れるひと時です。実りの秋に心を動かし感じることでできる時としたいと思います。収穫したさつまいもは、給食やおやつで味わいます。こうして子ども達が収穫の喜びを経験出来るのは、毎年子ども達がおいも掘りを楽めるように、畑に苗を植え、夏水やりをして子ども達の為に育てて下さる畑の方の働きがあるからです。たくさんの方々には私達園の保育が支えられている事を感じ、園につながって下さる方の力に感謝する一日でもあります。



秋を探しに出かけてみませんか?



秋の虫、コオロギが虫かごに入って幼児フロアにいます。コオロギが♪コロコロ♪と泣き出すと、「コオロギ ナイテル」というお友達の声で虫かごの前に子ども達が集まってきました。園庭の築山にもクローバーが増えてきたことで、コオロギやバッタ・てんとう虫など色々な虫たちを見つけることが出来ます。卒園児の中で、幼児の時に桂川河川敷まで出かけ草むらに入っていくと服やズボンにくっつき虫がたくさん付いていました。「くっつき虫がついてるよ」と声をかけると、虫だと思ったようで怖くて大泣きしていたことがありました。「くっつき虫っていう、葉っぱだよ」と教えてあげると安心したようで、お友達とくっつき虫を服に付け合せて楽しんでいました。綺麗に整備された場所で遊ぶことが多くなってきて、色々な虫やくっつき虫という葉っぱに出会える機会も少なくなって来ています。コロナ感染予防の為、出かけることも少なくなっていますが、過ごしやすい季節、体を動かすことや虫探しに出かけて楽しむ機会もつくってもらえたらと思います。



今年のバザーは、11月3日(水)～12日(金)のバザー期間で行います。

今年も、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の為、例年通りのバザーは行えませんが、『毎年幼児の子ども達が中心で行っている震災支援の取り組みは行わせて頂きます。』震災支援の取り組みは、2016年4月14日に起こった熊本地震がきっかけでした。子ども達に熊本で地震後何が起きているのか、自分に何が出来るのかを礼拝で話して考えていきました。その中で献金の話が子ども達の方から出てきたことで、バザーの震災支援のコーナーの取り組みがはじまりました。毎年、選択自由あそびなどで楽しんでいるあそびの中から子ども達と相談して商品を作成しています。この取り組みを通して子どもに自分が持っている力が誰かの喜びになる事を感じてほしいと願っています。バザー期間に震災支援コーナーを1階と2階のフロアに設け販売させて頂きます。どうぞ、ご協力よろしくお願い致します。尚、震災コーナーの利益は、私共の園が所属している日本キリスト教保育同盟を通して震災復興のクリスマス献金として送らせて頂きます。

園のホームページから「後援会」のホームページに入っていけるようになります。後援会のホームページのバザーを覗いて頂くと子ども達が震災支援コーナーの準備を行っている様子を動画で紹介させて頂きます。そちらもお楽しみ下さい。